

体験活動推進プロジェクト 防災キャンプ推進事業

猿払村防災キャンプ

猿払村教育委員会

【事業のポイント】

- 災害が起こった時に、状況を的確に判断し、自ら行動し生き抜く力を育てる。
- 体験的な学びから、自然災害・気象に関する知識を身に付ける。
- 災害時に中心となるリーダーを育てる。



1. 企画

(1) 事業実施の背景

猿払村は自然災害の少ない地域であるが、災害はいつ、どこで発生するかわからないものであり、災害が発生した際には、被害を最小限にするため、日頃から防災への関心や知識を高めることが重要である。

そこで、猿払村では学校を避難所と想定した避難生活の実体験や、フィールド学習を通して、自然災害に関する基礎的な知識を習得し、災害発生時に生き抜く力を育成する必要があると考え、本キャンプを実施することとした。

(2) ねらい

北海道内で想定される地震や津波等、災害被災時の適切な対応等について学ぶ機会を提供することにより、児童生徒及び地域住民の防災意識の高揚を図る。

また、時代を担う中学生のリーダーを養成するとともに、学校を避難所として実施することで、有事の際に生き抜く力を育て、児童生徒と地域住民との共同作業による体験活動を通して地域の絆づくりを促進し、思いやりや助け合いの精神を醸成することを目指す。

2. 事業概要

(1) 運営体制

猿払村防災キャンプ事業実行委員会

委員長	米谷 重見	(浜鬼志別小学校長)
副委員長	山口 亮	(浜鬼志別小学校PTA会長)
委員	野村 雅男	(浜鬼志別自治会長)
委員	村吉 克之	(稚内地方気象台防災業務課防災気象官)
委員	波岸 克泰	(北海道教育庁宗谷教育局教育支援課長)
委員	小俣 孝範	(稚内地区消防事務組合猿払支署副長)
委員	阿部 真人	(猿払村役場総務課長補佐)
委員	庄崎 裕史	(鬼志別小学校長)
委員	吉岡 壽夫	(知来別小学校長)
委員	斎藤 和昭	(浅茅野小学校教頭)
委員	森田 繁	(拓心中学校教頭)
委員	鈴木 淳司	(猿払村教育委員会社会教育主事)

(2) 開催実績

月 日	内 容
6月26日	第1回猿払村防災キャンプ実行委員会議 防災キャンプの内容の検討、中学生リーダー研修会の内容の検討
7月19日	第2回猿払村防災キャンプ実行委員会議 防災キャンプの内容の最終決定

7月23日	中学生リーダー研修会 中学生リーダーの役割について、防災キャンプの準備確認、体験実習
7月28日	猿払村防災キャンプ(1日目)
7月29日	猿払村防災キャンプ(2日目)
7月30日	猿払村防災キャンプ(3日目)

3. 防災キャンプ実施概要

(1) 運営体制

主催：猿払村教育委員会
 主管：猿払村防災キャンプ実行委員会
 協力：北海道、北海道教育庁、北海道教育庁宗谷教育局、札幌管区气象台、稚内地方气象台、稚内地区消防事務組合猿払支署、猿払村役場、村内各小中学校、浜鬼志別自治会

【7月28日(日)】

時 間	日 程	場 所
15:00~15:15	受付	猿払村漁業協同組合駐車場
15:15~15:30	開会式	猿払村漁業協同組合駐車場
15:30~15:45	オリエンテーション	猿払村漁業協同組合駐車場
16:00~16:15	<体験活動Ⅰ>避難行動	(浜鬼志別小学校へ徒歩で移動)
16:30~17:15	<講話Ⅰ>東日本大震災における救助避難活動 講師：陸上自衛隊名寄駐屯地職員	浜鬼志別小学校アリーナ
17:30~18:00	<体験活動Ⅱ> 避難所の設営 停電・断水体験	浜鬼志別小学校アリーナ
18:00~19:30	<夕食>非常食体験	浜鬼志別小学校アリーナ
19:30~21:45	<体験活動Ⅲ>振り取り活動 交流活動(ダンボールハウス作り)	浜鬼志別小学校アリーナ
21:45~22:00	就寝準備・就寝	浜鬼志別小学校アリーナ



避難所設営の様子



ダンボールハウスづく

【7月29日(月)】

時 間	日 程	場 所
6:15~ 7:00	起床・着替え・洗面・歯磨き・ラジオ体操	浜鬼志別小学校アリーナ
7:00~ 8:00	<朝食>非常食体験	浜鬼志別小学校アリーナ
8:00~ 8:40	ダンボールハウス作り	浜鬼志別小学校アリーナ
8:50~10:20	<講話Ⅱ>気象等の知識、自然災害と避難について 講師：稚内地方气象台職員	浜鬼志別小学校アリーナ
10:40~12:00	<体験活動Ⅳ>フィールドワーク活動 講師：猿払村役場防災担当職員	浜鬼志別小学校アリーナ
12:00~13:00	<昼食>配給体験	浜鬼志別小学校アリーナ
13:00~15:00	<体験活動Ⅴ>防災ヘリ体験	浜鬼志別小学校グラウンド
15:10~16:00	<体験活動Ⅵ>救急救命について	浜鬼志別小学校アリーナ
16:00~18:00	<夕食>カレーライス作り	浜鬼志別小学校外玄関前
18:00~20:00	<体験活動Ⅶ>釜風呂体験	浜鬼志別小学校職員駐車場
20:00~21:45	交流活動・振り取り	浜鬼志別小学校アリーナ
21:45~22:00	就寝準備・就寝	浜鬼志別小学校アリーナ



津波発生装置による実験



防災ヘリ体験搭乗

【7月30日(火)】

時 間	日 程	場 所
6:15~ 7:00	起床・着替え・洗面・歯磨き・ラジオ体操	浜鬼志別小学校アリーナ
7:00~ 8:00	朝食	浜鬼志別小学校アリーナ
8:00~ 9:00	避難所片づけ	浜鬼志別小学校アリーナ
9:00~11:00	振り取り・全体会	浜鬼志別小学校アリーナ
11:00~12:00	開会式・解散	浜鬼志別小学校アリーナ



防災新聞づくり

4. 普及啓発の実施概要

防災キャンプについて、次のとおり、普及啓発を行った。

- ・村内回覧による防災キャンプ実施の周知
- ・音声告知端末による防災キャンプ実施の周知
- ・猿払村広報誌での防災キャンプ実施の紹介(広報さるふつ9月号)
- ・村ホームページ掲載
- ・北海道新聞、日刊宗谷、北海道通信の新聞記事での防災キャンプの紹介

5. 成果と課題

(1) 事業成果

自衛隊名寄駐屯地や稚内地方気象台、役場防災担当、消防猿払支署の職員を講師に、災害や気象、防災、救急救命について学んだほか、避難所設営や、停電・断水体験、防災食による食事、配給・炊き出し体験、釜風呂による入浴など、ライフラインの途絶を想定した体験活動を実施した。

また、北海道の防災ヘリが浜鬼志別小学校のグラウンドに着陸し、装備品の見学やヘリコプターの搭乗体験、救助訓練の様子を見学した。

2泊3日のキャンプを通じ、中学生は小学生をよくまとめリーダーシップを発揮していた。参加した子どもたちには成長が見られ、防災に関する知識を身に付けたほか、思いやりや譲り合い、助け合いの精神が醸成された。

【参加者数：計20名(小学生13名、中学生5名、保護者2名)】

(2) 事業運営上の課題・留意点

次のプログラムまでの時間の調整や連絡方法など、運営や進行において工夫していかなければならない点が見られた。

養護教諭に協力依頼し、運営スタッフとして参加が得られたが、24時間体制ではなかったことから、深夜に体調不良者が発生した場合の対応が万全ではなかった。

(3) その他

参加者の感想

- ・初めてのことばかりだったが、やり終えられてよかった。
 - ・震災の恐ろしさなどをよく知ることができた。
 - ・最初は緊張したけれど友だちとの触れ合いで緊張がなくなりました。とっても楽しかったです。
 - ・大変貴重な体験を子どもたちと共にでき、とてもこれからのためになった。
- 今回はあくまでも体験ということで、心理的なストレスは無かったが、実際は心理的、物理的な圧迫もあり、もっと厳しいものになるということが十分予想できた。

6. 団体プロフィール

猿払村の概要(平成25年4月1日現在)

人口:2,854人 世帯数:1,230世帯 面積:590km²

学校数(平成25年4月1日現在)

小学校6校、中学校1校

児童生徒数(平成25年4月1日現在)

小学校185名 中学校72名



防災キャンプ実施地: 浜鬼志別地区